

2018年5月6日(日)

ゴールデンウィークに京浜工業地帯の工場エリアを走る鶴見線に乗りました。鶴見線は京浜東北線の鶴見から海沿いの工場地域を結ぶ幾つかの路線で構成されています。具体的には、横浜市鶴見区の鶴見から川崎市川崎区の扇町までの本線(7.0km)、途中の浅野から海芝浦までの支線(1.7km)、武蔵白石から大川までの支線(1.0km)があり、ほとんどの電車が鶴見発着のため、各支線の終点に行くには鶴見から乗るのが便利です。鶴見線の駅は本線と支線を合わせて全部で17駅あります、

5月6日の日曜日、京浜東北線の大井町をスタートして鶴見線の各路線に乗車しました。今回は乗車時間が短いため、大井町を15時34分に出発し、鶴見に15時46分に到着しましたが、鶴見線は朝晩の通勤時間帯以外は運行本数が少なく、この時間帯は各支線の終点行きの電車が順番に出発するダイヤでした。

鶴見から最初に乗った電車は16時50分発の海芝浦行きです。鶴見を出て最初の駅は「国道」という名前の駅で、国道との交差点にあることからついた名前ようです。鶴見線の駅名は後で述べるとおり人の名前が引用されている駅が幾つもあります。



鶴見駅の海芝浦行き電車

<2018年5月6日>

- 大井町
 - | 15:34 発
 - | J R 京浜東北線(快速)[逗子行]12分
 - | 15:46 着
- 鶴見
 - | 16:50 発
 - | J R 鶴見線(普通)[海芝浦行]11分
 - | 17:01 着
- 海芝浦
 - | 17:13 発
 - | J R 鶴見線(普通)[鶴見行]12分
 - | 17:25 着
- 鶴見
 - | 17:45 発
 - | J R 鶴見線(普通)[大川行]13分
 - | 浅野
 - | 17:58 着
- 大川
 - | 18:01 発
 - | J R 鶴見線(普通)[鶴見行]4分
 - | 18:05 着
- 安善
 - | 18:09 発
 - | J R 鶴見線(普通)[扇町]8分
 - | 18:17 着
- 扇町
 - | 18:25 発
 - | J R 鶴見線(普通)[浜川崎]4分
 - | 18:29 着
- 浜川崎
 - | 18:43 発
 - | J R 南武線(普通)[尻手]8分
 - | 18:51 着
- 尻手
 - | 18:52 発
 - | J R 南武線(普通)[稲城長沼]9分
 - | 19:01 着
- 武蔵小杉

日曜日の昼間に工場に通勤する人は居ないため、終点の海芝浦まで行ったのは私と同じように鶴見線に乗りに来た男女数人のグループだけでし

鶴見線のダイヤ①

鶴見	16:50
国道	16:52
鶴見小野	16:53
弁天橋	16:55
浅野	16:57
新芝浦	16:59
海芝浦	17:01



た。海芝浦には 17 時 01 分に到着しました。

海芝浦のホームは海に面し、ホームから釣りができそうです。改札口は東芝の工場と繋がっており、東芝の社員以外は降りない駅ですが、宮脇俊三の『時刻表 2 万キロ』では、「どこか旅へ行ってみたくて遠くへ行く時間のない人は、海芝浦駅へ行ってみると良い」と紹介されている駅です。駅のホームで海を眺めていると、日頃の疲れが癒されるような気分になります。11 分間の乗車でしたが、最初の未乗車区間の乗車は終わったので 17 時 13 分発の折返し電車に乗り、17 時 25 分に鶴見に戻りました。

次は、鶴見 17 時 45 分発の電車で次の支線の大川を目指します。浅野までは同じ区間を走行し、安善を過ぎて本線から分岐して終点の大川には 17 時 58 分に到着しました。鶴見線の「浅野」は浅野財閥の浅野総一郎、「安善」は安田財閥の安田善次郎、「大川」は大川財閥の大川平三郎など、財閥の代表者の名前

鶴見線のダイヤ②

鶴見	17:45
国道	17:47
鶴見小野	17:48
弁天橋	17:50
浅野	17:52
安善	17:54
大川	17:58

鶴見線のダイヤ③

安善	18:09
武蔵白石	18:10
浜川崎	18:13
昭和	18:15
扇町	18:17

が付けられています。

大川を 18 時 01 分の折返し電車で安善に 18 時 05 分に到着し、最後は鶴見線本線の終点の扇町を目指します。安善に到着した 18 時 09 分発の扇町行きの電車に乗り、終点の扇町には 18 時 17 分に到着しました。鶴見線は短い路線ですが、同じ区間を行ったり来たりして、鶴見を出発してから 1 時間 27 分かかりましたが全区間乗車することが出来ました。

扇町発 18 時 25 分の電車に乗り、南武線との接続駅である浜川崎に 18 時 29 分に到着しました。次は、南武線に乗車します。南武線の川崎と立川を結ぶ本線は乗車済みですが、南武線には川崎市幸区の尻手と同市川崎区の浜川崎を結ぶ延長 4.1km で途中に 3 駅しかない南武支線（通称「浜川崎支線」）があり、この浜川崎支線がこれから初めて乗車する区間です。鶴見線の浜川崎と南武線の浜川崎は別の駅のため、鶴見線の浜川崎の改札を出て道路を渡り、向かいの南武線ホームへ行きました。浜川崎を 18 時 43 分発の南武線に乗り、尻手で南武支線は全線乗車しましたが、そのまま武蔵小杉まで乗車して武蔵小杉に 19 時 01 分に到着しました。



南武線のダイヤ

浜川崎	18:43
小田栄	18:45
川崎新町	18:47
八丁畷	18:49
尻手	18:52
矢向	18:54
鹿島田	18:56
平間	18:57
向河原	18:59
武蔵小杉	19:01

時間は遅くなったのですが、横須賀線の鎌倉から先の区間を乗っていなかったの
で、武蔵小杉 19 時 02 発の久里浜行きの
電車に乗り久里浜まで行ってきました。久
里浜に 20 時 17 分に到着し、折返し
の 20 時 21 分発の成田行き電車で大船に 20 時
56 分に戻ってきました。

大船から東京方面に戻るには東海道線
か横須賀線が普通のルートなのでしょう
が、根岸線の一部区間を乗ってなかった
ような気がしていたので、大船 21 時 08 分
発の根岸線に乗って 21 時 39 分に横浜に
到着しました。

横須賀線のダイヤ

武蔵小杉	19:02
新川崎	19:05
横浜	19:15
保土ヶ谷	19:18
東戸塚	19:23
戸塚	19:27
大船	19:37
北鎌倉	19:40
鎌倉	19:44
逗子	19:56
東逗子	19:59
田浦	20:03
横須賀	20:07
衣笠	20:12
久里浜	20:17

横浜からは湘南
新宿ラインで大崎

に戻りました。帰りが夜になってしまいましたが、日曜日の午後の時間で鶴見線をメインに、横須賀線と根岸線の未乗車区間を乗車することができました。

<2018 年 5 月 6 日>

- 武蔵小杉
| 19:02 発
| JR 横須賀線(普通)[久里浜行]42 分
- 鎌倉
| JR 横須賀線(普通)[久里浜行]33 分
| 20:17 着
- 久里浜
| 20:21 発
| JR 横須賀線(普通)[成田行]35 分
| 20:56 着
- 大船
| 21:08 発
| JR 根岸線(普通)[南浦和行]31 分
| 21:39 着
- 横浜
| 21:50 発
| JR 湘南新宿ライン(快速)[高崎行]20 分
| 22:10 着
- 大崎

根岸線のダイヤ

大船	21:08
本郷台	21:12
港南台	21:15
洋光台	21:18
新杉田	21:21
磯子	21:24
根岸	21:27
山手	21:29
石川町	21:32
関内	21:33
桜木町	21:35
横浜	21:39